

2024.4.25

令和6年度東京都訪問看護教育ステーション事業 受託事業者公募説明会

東京都訪問看護 教育ステーション事業について



訪問看護ステーションはーと
訪問看護認定看護師

富岡 里江

訪問看護ステーション はーと

- ◆ 葛飾区金町を拠点
訪問エリア:葛飾区と足立区の一部
機能強化型管理療養費I (2014年~)
看護体制強化加算(I) (2015年~)
東京都訪問看護教育ステーション (2015年~)
- ◆ 看護職員19名(常勤換算14.1名) 理学療法士等 2名
事務 5名(法人事務、他事業所事務兼務) ドライバー 5名
- ◆ 1か月の訪問利用者 150名前後
医療保険:介護保険=6:4(末期がん・神経難病・小児の利用者が多い)
特別管理加算算定利用者 60%以上
- ◆ 2023年度看取り 37名(自宅21名 ホームホスピス16名/医療30名 介護7名)
- ◆ 併設事業
居宅介護支援事業所、ホームホスピス(住宅型有料老人ホーム)
訪問介護事業所、児童発達支援・放課後等デイサービス
療養通所介護(児童発達・放デイ/生活介護併設)、暮らしの保健室



私たちウッディは小児からお年寄りまで
地域の皆様の健康と暮らしを応援します

株式会社ウッディの事業



〒125-0041

葛飾区東金町1-38-6 宇羽野ビル4階

訪問看護ステーションはーと

看護とリハビリセラピストが親身な心、
スキル高い技術で24時間365日、
安心な療養生活を応援します

☎ 03-5876-9601

居宅介護支援事業所はーと

豊かな経験をもつケアマネージャーが
スピーディーに対応。ご意向に沿った
柔軟なケアプランをお作りします

☎ 03-5876-9647

ヘルパーステーション デュオハート

療養者様の心に寄り添い、優しく
きめ細かい身体介護を提供します

☎ 03-5876-3385

訪問看護ステーション
はーと

居宅介護支援事業所
はーと

児童発達支援・
放課後等デイサービス
はーとdeサンタ

住宅型有料老人ホーム
ホームホスピス
はーとの家

ヘルパーステーション
デュオハート

療養通所介護、児童発達支援・
放課後等デイサービス、生活介護
ナーシングルーム
ぽのぽの

ホームホスピス はーとの家



母体の訪問看護と連携し、
終の住処として人生の大切な
時間を共に暮らします
自費でのレスパイトも対応
可能です

葛飾区東金町3-41-27
笑和（にこ）の郷 2F

☎ 03-5876-6034

児童発達支援 放課後等デイサービス はーとDEサンタ



保育士による小さな命の発達
支援と、看護師による医療的
ケアを通しご家族の健やかな
暮らしをサポートします

葛飾区水元3-9-11

☎ 03-5876-3789

ナーシングルーム ぽのぽの



看護・介護・保育士・リハビリ・
アロマセラピストが協働し、医療
的ケアの必要なお子様から高齢者
の方への「楽しく豊かに生きる」
を応援します

葛飾区東金町3-41-27
笑和（にこ）の郷 1F

☎ 03-5876-6577

暮らしの保健室
らら

こども食堂
ヒュッテらら

暮らしの保健室

葛飾区東金町3-41-27
笑和（にこ）の郷 1F

地域の方々のコミュニケーションスペースとして、働く
ケアラーズの学びの場として、水・金曜日に開放しております
療養や介護、育児にお悩みをお抱えの方のご参加も大歓迎です

教育ステーションを引き受けようと思った動機

地域の訪問看護ステーションが増える中で、様々な課題を感じていた
法人内でも多職種連携において、課題を感じていた

2013年～

地域啓蒙として、「いのちを考える市民講座」

多職種連携の機会として、「介護のみのり♥カフェ」を行っていた

教育ステーション

事業の目的:自分たちが感じている課題と合致

事業の内容:行ってきたものが、活かせるのではないか

教育ステーションの事業

①ステーション体験・研修／出張同行訪問

- ◆ 都内在住または都内勤務の看護職を対象
(訪問看護ST勤務、その他勤務、離職中の看護師)
- ◆ 通年募集
HPカレンダーの学生などの実習、研修日以外の日を可能日として日程調整
学びたい内容等に合う研修日に調整(1~5日)
- ◆ 保険加入、受講決定通知
研修当日は、オリエンテーション、同行訪問、希望の施設見学、振り返り
複数日希望者で、看護技術獲得目的の場合は、シミュレーター演習
- ◆ じっくり訪問看護コース(11~20日)
所属ステーションの育成計画に応じて、訪問看護の基礎等を学ぶ
- ◆ 出張同行訪問
研修ST利用者の訪問に同行指導

♥ 訪問看護教育ステーション

「訪問看護ステーションはーと」は、東京都訪問看護教育ステーションに指定されています。
訪問看護教育ステーションとは、身近な地域において訪問看護に関心のある看護職の方を対象とした職場体験や各種研修、また医療機関での研修などを実施する、東京都から指定を受けた事業所です。

[東京都訪問看護教育ステーション事業概要\(東京都福祉保健局\)](#)

[東京都発行リーフレット\(訪問看護ステーションの看護職のみなさま向け\)](#)

[東京都発行リーフレット\(訪問看護ステーション以外の看護職のみなさま向け\)](#)

[イベント情報](#)

体験研修

対象となる方	現在訪問看護に従事されている看護師の方 訪問看護に興味のある看護師の方 医療機関を離職された看護師の方
研修内容	オリエンテーション 訪問看護への同行 受講者の経験等に応じた実践研修 勉強会等への参加
研修期間	1日～5日
お申込み方法	お申込み書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送にてお送り下さい。 訪問看護ステーション体験研修 ・ご案内(PDF) ・申込書(Excel) 【FAXの場合】 FAX 03-5876-9602 【郵送の場合】 〒125-0041 東京都葛飾区東金町1-38-6 宇羽野ビル4階 訪問看護ステーションはーと 教育ステーション受付係

更新情報

【2024年3月1日開催】
第67回「介護のみりカフェ」
[開催情報を公開しました。](#)

【2023年11月16日開催】
第66回「介護のみりカフェ」
[開催情報を公開しました。](#)

【2023年9月21日開催】
第65回「介護のみりカフェ」
[開催情報を公開しました。](#)

【2023年6月30日開催】
第64回「介護のみりカフェ」
[開催情報を公開しました。](#)

【2023年5月27日から3回開催】
2023年度訪問看護初任者研修の
[情報を掲載しました。](#)

【2023年3月23日開催】
第63回「介護のみりカフェ」
[開催情報を公開しました。](#)

2021年9月
[ナーシングルームぼのぼのを開設
しました](#)

2021年9月
[ホームホスピスはーとの家 移転
しました](#)

訪問看護ステーション はーと

〒125-0041
東京都葛飾区東金町1-38-6
宇羽野ビル4階

tel.03-5876-9601

fax.03-5876-9602

HPにあるカレンダーの空いている日から候補日を選択
申込書を送ってもらった後、
電話で詳細を調整

教育ステーションの事業

②勉強会・カンファレンス

- ◆ 訪問看護初任者研修
2015年～毎年開催 土曜日午後3回（2020年よりzoom）
- ◆ 介護のみのり♥カフェ（多職種連携の会）
3～5回/年ペースで、その時々話題に合わせて開催
講義形式、事例検討会、意見交換会、対話会 等
- ◆ いのちを考える市民講座
記念講演およびシンポジウム 一般市民も対象
- ◆ ELNEC-Jコアカリキュラム、BCP作成研修、看護技術研修（集合型、出張型）
交流会（管理者、中堅、新任）

2024年度 東京都訪問看護ステーション事業

訪問看護初任者研修

日常業務の中で、迷いや不安のある方は多いのではないのでしょうか。訪問看護師になって間もない方、非常勤勤務など訪問看護について学ぶ機会のない方、改めて訪問看護について学び直してみたい方、一緒に学んでみませんか。オンラインで開催します。

対象：訪問看護師になって2年目までの方、それに準ずる方

日時：第1回 2024年5月25日(土)
第2回 2024年6月15日(土)
第3回 2024年7月13日(土) 各回13:00~16:30

内容：第1回 訪問看護の制度と概要/対象者と訪問看護の実際
第2回 接遇・リスクマネジメント 多職種との連携
第3回 家族看護 事例検討

申し込み：下記申し込みフォームまたはQRコードからお申し込み下さい
https://docs.google.com/forms/d/1rYR8No89GbNU_U4S9iBiHCcy4JsIv8J6u6L/EXchchw/edit

◎締め切りは、各研修日
8日前の金曜日17時です



*原則3回全ての参加が望ましいですが、1回だけの参加も可能です
ZOOMにて開催しますので、インターネット接続可能な場で
受講をお願いいたします (パソコンでの受講をお勧めします)
一人一台のパソコンからの参加が望ましいです

お問い合わせ：訪問看護ステーションはーと 富岡
TEL03-5876-9601 / FAX03-5876-9602

2023年度東京都訪問看護教育ステーション事業

第66回介護のみのり♥カフェ

今回のテーマは
療養者が大切にしていること
を当事者から学ぶ

今回は、人工呼吸器を装着しながら在宅療養
されている当事者の方の体験や大切にしている
こととお話し頂き、参加者の方々との対話を
深めたいと思います

感染対策を十分とって行います
事前申し込みをお願い致します

2023年11月16日(木)

18:30~20:00

場所：葛飾区東金町3-41-27
暮らしの保健室らら (笑和の郷 1階)

対象：医療福祉介護に携わる方ならどなたでも
申込み：裏面に記入の上FAXにて

*定員になり次第締め切らせて頂きます

参加費：無料

お問い合わせ 訪問看護ステーションはーと 富岡
03-5876-9601 <http://homonkango-heart.com>

“介護するひと”
“されるひと”を超えて。

第6回 いのちを考える市民講座

“人生100年時代”

～ 最期まで暮らし続けられる地域をめざして～

記念講演 秋山 正子
masako akiyama

■ 略歴 ■
長田生まれ
1973年 聖路加看護大学卒業
2001年 新ケアース代表取締役
自治学連任職大フェスティバル実行委員
2011年 暮らしの保健室 開設
2015年 看護情報誌「看護」編集委員
2016年 認定NPO法人「あまのこ」代表理事 センター長 兼任
2019年 第47回フロンティアフェスティバル実行委員
■ 著書 ■
在宅ケアのむくみ (2012年 医学書院)
在宅ケアのつながる力 (2011年 医学書院)
在宅ケアの不思議な力 (2010年 医学書院) など多数
2010年3月 NHK「アロフェニカル 在野の看護」に出演
2014年9月 NHKスペシャルにて「看護“人形” 徹底してドキュメン
トされる



■ 日 時：令和元年10月5日(土)
13:00~16:00(12:30開場)

■ 場 所：テクノプラザかつしか 2F 大ホール
〒125-0062 東京都葛飾区青戸7-2-1

■ 参加費：無料
(原簿準備の都合上事前予約をお願いします)

■ プログラム
13:00 “人生100年時代”
～最期まで暮らし続けられる地域をめざして～
14:50 いのちを考えるシンポジウム
・廣田 俊子 (101歳)

主 催：「看ます。生きます。この街で。」実行委員会
共 催：訪問看護ステーションはーと ホームヘルプはーとの家 在宅介護支援事業はーと 児童発達支援 認知症対応サービスはーと DEセンター
協 賛：東T&A 訪問看護ステーションアアシス 秋葉多 東田はりき 30診療院 橋本戸葉 橋本戸葉
パナソニックエレクトロニクス 淳友会 友友クリニック 東洋製薬
フロンティア訪問看護ステーション 青戸訪問看護ステーション かなち看護クリニック

ご質問：お問い合わせは、下記連絡先にお願ひします。
前日のお問い合わせは大変お願ひいたします。お断りの方は早めにお願ひいたします。
お問合せ：訪問看護ステーションはーと TEL:5876-9601 FAX:03-5876-9602
月～金：9:00～17:00

◎この事業は東京都訪問看護教育ステーション事業の一環として実施いたします。



教育ステーションの事業

③相談業務

- ◆ 相談内容
 - 運営：制度改正に関わる運営、新規事業の起ち上げ
 - 報酬：制度、加算
 - 人材：スタッフ教育、人間関係
 - その他：利用者との関わり、コロナ対策、BCP関連
- ◆ 相談実績
 - 2023年度 111件（113時間）
 - 2022年度 97件（66時間）
 - 2021年度 139件（81時間）
- ◆ コロナ禍では、コロナ関連の相談が圧倒的であったが、一昨年度はBCP関連、昨年度は、今後の事業運営、スタッフ教育等、事業継続に関する内容が増えた

教育ステーションの事業

④医療機関との相互研修

- ◆ 区内2か所の医療機関と契約（2020年～2022年は中止）
- ◆ 病院看護師の訪問看護体験
1～2日/人 8～10名×2医療機関
内容は、ステーション体験研修に準ずる
研修生の病棟から退院した利用者への同行訪問
- ◆ 訪問看護師の病院体験
0.5～1日/人 2～5名×2医療機関
専門外来、ラウンド、連携室、透析室、化学療法室…等
- ◆ 看護技術研修等
病院の認定看護師等の講義とシュミレーターを用いての演習
- ◆ 事業担当者と研修参加者の振り返りの会（年度末）

東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
「訪問看護師の病院内研修」募集要項

1. 目的

- 1) 医療機関における研修により、訪問看護で経験できない技術や専門的知識を習得する機会となる。
- 2) 相互研修や事例検討会・意見交換を通して医療機関にとっても在宅での視点を学び訪問看護を知る機会となる。

2. 研修受け入れ医療機関：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター

【コース】

- ・認知症看護 月曜日 13:30～16:00 火曜日 9:00～12:00 半日
 - ・透析看護 火曜日 14:00～16:00 半日
(血液透析・腹膜透析)
 - ・皮膚排液ケア 火曜日 13:00～16:00 木曜日 13:00～16:00 半日
(尿道カテーテル・褥瘡・ストーマ)
 - ・化学療法室 水曜日 9:00～12:00 半日
 - ・慢性心不全看護 火曜日 10:00～16:30 1日
 - ・PFM:入院前面談 水曜日 9:00～13:00 半日
- *上記の専門外来半日と病棟半日の1日研修も可能です

3. 募集期間・研修時間

2023年6月～12月 8時30分～16時30分(コースにより異なります)

4. 募集人数および日程

近隣の訪問看護師 3名 半日～1日

5. その他

研修内容：基本的には見学実習となります。各部署の担当者の指示を受けてください。場合によっては、病棟ラウンドやカンファレンスの参加があります。

服装：ユニホーム(M・L)に着替えて頂きます。靴は各自で御用意ください。

髪の長い方は、まとめてください。(色は黒、華美な飾り等は避けて下さい)

昼食：各自で準備してください。昼食場所も各担当者の指示を受けてください。院内にコンビニエンスストアやカフェドクリエがあります。

振り返り：終了時に研修を終えての学びや気づきを担当者と意見交換します。

その他：駐車場は確保されていません。車でお越しの方は、各自で駐車料金を負担してください。

自転車の場合は、患者用駐輪場を利用してください。

研修後1週間以内に、アンケートを提出していただきます。

研修期間終了後意見交換会を1～2月に予定していますので、参加して下さい。

申し込み：研修希望日2週間前までに申込書をFAXして下さい。

調整の上、ご連絡いたします。参加希望者が多い場合、ご希望に添えないことがあります。

訪問看護ステーションはーと FAX 03-5876-9602 (担当:高岡)

東京都立病院機構 東部地域病院
「訪問看護師の病院内研修」募集要項

1. 目的

- 1) 医療機関における研修により、訪問看護で経験できない技術や専門的知識を習得する機会とする
- 2) 相互研修や事例検討会・意見交換を通して医療機関にとっても在宅での視点を学び訪問看護を知る機会とする

2. 研修受け入れ医療機関：地方独立行政法人 東京都立病院機構 東部地域病院 看護部

【コース】 *第二・四木曜日は研修ができません

一般病棟(内科 外科) 外来化学療法室 看護相談室(退院支援)

看護専門外来：呼吸・酸素(月 水 金) 糖尿病(月 火 AM 金 AM)

摂食・嚥下(火 AM) がん(月～金 AM) がん・リンパ浮腫(木 AM)

皮膚排液(ストーマケア)(月～金 AM)

病棟回診：緩和ケア(月) NST(月) 褥瘡(火) 認知症(水)

実技演習：シュミレータを使用したBLS、ポート、オムツ交換などの演習

*AM専門外来、PM実技演習などの研修も可能です。実技に関しては上記以外でもご相談にのって下さるそうです

3. 募集期間・研修時間

2023年7月～2023年12月 8時30分～16時00分(コースにより異なります)

4. 募集人数及び日程

近隣の訪問看護師 3名 0.5日～1日

5. その他

研修内容：各担当者の指示を受けて下さい。基本的には見学実習です。

服装：白衣を貸して頂きます。靴は各自で白色の物をご用意下さい。

髪の長い方は、おだんごにまとめて下さい。

昼食：各自で準備して下さい。昼食場所は各部署の担当者に確認して下さい。

院内レストラン「庭園」の利用もできます。

振り返り：研修終了後各部署の担当者達と学んだことや気づきの意見交換を行います。

その他：駐車場は確保されていません。できるだけ、公共機関を使用し参加をお願いします。

自転車置き場はご利用頂けます。

研修当日に事前に送付する個人情報保護等の誓約書を持参して下さい。

研修1週間以内に、アンケートを提出していただきます。

研修期間終了後意見交換会を1～2月に予定していますので、参加して下さい。

申し込み：研修希望日2週間前までに申込書・研修生情報をFAXして下さい。

調整の上、ご連絡いたします。参加希望者が多い場合、ご希望に添えないことがあります

訪問看護ステーションはーと FAX 03-5876-9602 (担当:高岡)

教育ステーションの事業

⑤ 広報

- ◆ 方法
 - ・法人のホームページへの掲載
 - ・チラシ作成・配布、FAX、メール、SNS
 - ・地域のステーション連絡会での告知

- ◆ チラシ
 - 年度の初めに計画のダイジェスト版
 - 各企画毎にチラシを作成

- ◆ FAX
 - 開催決定時、必要時は直前も

教育ステーションをやって…

- ◆ 新規ステーションが増えるなかで、身近な相談の場や学びの場は必要
- ◆ 元々行ってきた活動が一事業所のものではなく、「東京都訪問看護教育ステーション事業」として行える
- ◆ 学生実習の合間に体験研修が入るため、外部の方が来ることが多い
 - ・同行訪問・研修内容調整、スタッフの負担や緊張
 - ・外に開けたST、人に伝えることの訓練、研修生との意見交換の機会
- ◆ 教育ステーション担当者は、事務作業や調整、相談業務に時間が必要
 - ・日常の業務をこなしながら、時間を捻出
 - ・資料作りは、時間外が殆ど
 - ・地域のST看護師、病院看護師、多職種等と接する機会が増え、関係づくりに繋がる

ご清聴ありがとうございました

